

富山県森づくりプラン（前期計画）の実績

前期計画（H19～23）の目標と年度別実績について

○水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進

里山林の整備

（単位：ha）

年度	H19	H20	H21	H22	H23	前期目標
整備面積	367	373	322	144	90	
延べ面積	367	740	1,062	1,206	1,296	1,000

整備実施例

地域住民との協働による
里山林整備
（黒部市若栗地内）



混交林の整備

（単位：ha）

年度	H19	H20	H21	H22	H23	前期目標
整備面積	61	74	132	212	213	
延べ面積	61	135	268	480	693	1,000

整備実施例

風雪被害林整理
（高岡市福岡町上野地内）



○とやまの森を支える人づくりなどの推進

県民参加による森づくりの年間参加延べ人数

（単位：人）

年度	H19	H20	H21	H22	H23見込	前期目標
年間参加延べ人数	6,920	10,033	10,999	10,262	10,000	6,000



森林ボランティアによる
森づくり活動



森づくりに必要な基礎技術
などを指導する森づくり塾



森づくりボランティア
の集いを開催

平成23年度水と緑の森づくり事業の実施状況

○ 富山県水と緑の森づくり基金積立額 344 百万円

内訳 水と緑の森づくり税込相当額 340 百万円
 寄付金、運用益 4 百万円

○ 水と緑の森づくり事業実施額 342 百万円

県民全体で支える森づくりの推進と森づくりの評価・改善

I 水と緑の森づくり推進事業 6 百万円

水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進

II 里山再生整備事業 116 百万円

III みどりの森再生事業 163 百万円

とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進

IV とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業 23 百万円

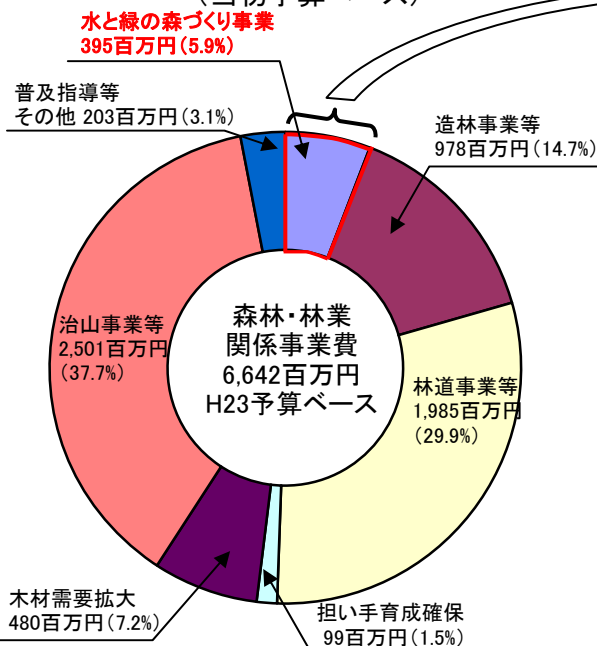
V とやまの森づくり総合情報システム事業 4 百万円

VI とやまの森づくり普及啓発推進事業 5 百万円

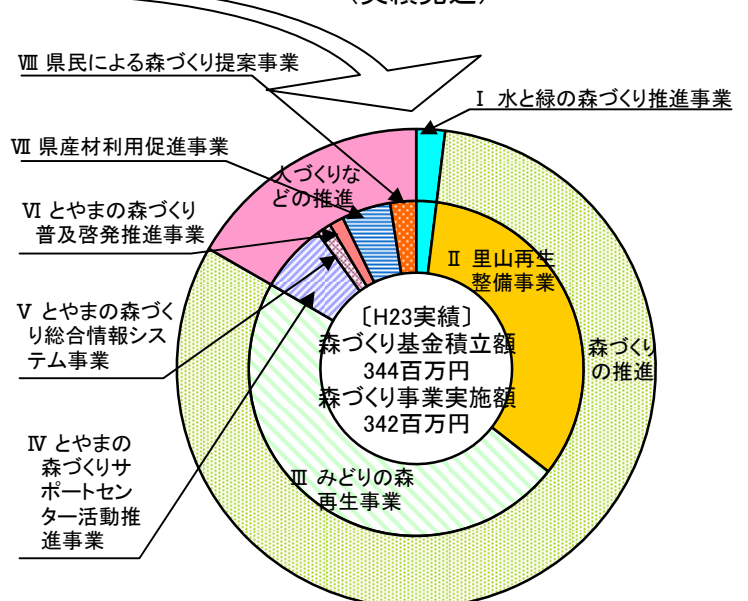
VII 県産材利用促進事業 16 百万円

VIII 県民による森づくり提案事業 9 百万円

平成23年度富山県森林・林業関係事業費の内訳
 (当初予算ベース)



平成23年度水と緑の森づくり税を活用した事業費の内訳
 (実績見込)



※事業費には森林整備・林業再生基金事業を含む

I 水と緑の森づくり推進事業

○趣 旨

県民全体で支えるとやまの森づくりを推進し、森づくりの計画、実行の改善のための評価を実施します。

○平成23年度事業の実績

(1) 富山県水と緑の森づくり会議の開催

森づくり全般について、県内の各界の代表者等から幅広く意見を伺いました。

第1回 平成23年5月24日

- 議題
- ・H22年度事業実施状況、H23年度事業の取組みについて
 - ・県民による森づくり提案事業(県民実践活動事業)の審査
 - ・水と緑の森づくり表彰について
 - ・富山県森づくりプラン(後期計画)の考え方について

第2回 平成23年8月31日

- 議題
- ・富山県森づくりプラン(後期計画)(案)について

(2) 富山県森林審議会森づくり部会の開催

水と緑の森づくり事業について、専門的・技術的立場から評価をいただきました。

平成23年6月9日

- 内容
- ・H22年度の事業評価の実施
 - ・H23年度の事業概要の報告
 - ・富山県森づくりプラン(後期計画)の検討状況について

(3) 森づくりの広報等

水と緑の森づくりの取組みについて、広く県民の皆さんに広報を行いました。

- | | |
|------------|---------------------------------|
| 6月 | 県広報とやま6月号に森づくりの実績等の紹介記事掲載 |
| 7月3日 | 地産地消県民交流フェアに出展(富山市・環水公園) |
| 7月(1ヵ月間) | 県内ケーブルテレビ各局にて「森づくりフェア」の実施状況の放映 |
| 7月24日 | 新聞広報紙面の掲載(森づくりの実績等) |
| 8月 | タウン情報とやま8月号に森づくりの実績等の紹介記事掲載 |
| 8月26日 | FMとやま「知事の県政ざっくばらん」水と緑の森づくりについて |
| 8月28日 | 新聞広報紙面の掲載(県産材利用促進の取組み等) |
| 9月28日 | 森づくり税の延長及び充実にかかる条例が県議会で全会一致で可決 |
| 10月29日 | 県政番組の放送(KNB)(森づくりプラン後期計画について) |
| 11月11日 | 「富山県森づくりプラン(後期計画)」を策定 |
| 2月(1ヵ月間) | ローソンに森づくり税延長広報ポスターを掲示 |
| 2~3月(2ヵ月間) | イオン、マックスバリュに森づくりプラン後期計画パンフレット掲示 |

地産地消県民交流フェアにおける出展状況



パネル展示による森づくりの実績紹介



穂先タケノコ炊き込みご飯の試食の配布



県産材積み木やベンチの設置・PR

(4) 県民参加の森づくりフェア

富山県森づくりプランの5年間の実績を広く県民に紹介するとともに、実際の森づくり活動体験を通して県民参加の森づくりの重要性を普及啓発し、県民参加の森づくりを加速化するため県民参加の森づくりフェア」を開催しました。

5月26日（朝日町・棚山ファミリーランド）

内容

- ・ 水と緑の森づくり表彰

優良な活動を行っている森林ボランティア団体、企業を表彰（6団体）

受賞団体名	代表者名	所在地
とやま森林サポーター二期会	高富 輝男	砺波市
とやま森林づくりボランティアの会	山橋 貞信	富山市
特定非営利活動法人 きんたろう倶楽部	鏡森 定信	富山市
伏木ふれあいの社管理協力会	山 孝之	高岡市
(株)国際電気セミコンダクターサービス富山事業所	池田 文秀	富山市
グループ樹の実	若井 直美	黒部市

- ・ 水と緑の森づくり表彰受賞者と知事との森づくりトーク
森づくり活動について、知事と受賞者との意見交換
- ・ 水と緑の森づくり展
森づくり事業を紹介するパネル展示やサポートセンターの貸出機器等の展示
- ・ 森づくり活動体験
森の小径づくりや山菜園、薬草園づくり、炭焼き体験などを実施
- ・ 森のおもしろ体験
森の寺子屋の開催、森林空間を利用したターザンロープや巨大ブランコなど

県民参加の森づくりフェア実施状況



水と緑の森づくり表彰



森づくりトーク



森のおもしろ体験

(5) 県民参加の森づくりフォーラム

平成23年11月に策定した「富山県森づくりプラン（後期計画）」について広く県民に紹介し、後期5年間の森づくりへの理解醸成や意識の高揚を図るため、「県民参加の森づくりフォーラム」を開催しました。

11月13日（富山市・ボルファートとやま）

内容

- ・ パネルディスカッション（テーマ：「これからのとやまの森づくり」）
コーディネーター：宮口侗迪（早稲田大学教育・総合科学学術院教授）
パネリスト：石井知事、川村昭一（里山地区代表）、川尻香代子（ボランティア代表）、岡田浩二（企業の森づくり代表）、種部修史（森林組合代表）
- ・ 森の〇×クイズ（来場者全員参加）
- ・ 特別講演（演題：「100年後の子供たちにこの自然を残そう」）
講師：田中律子（女優、NPO法人アクアプラネット理事長）

県民参加の森づくりフォーラム実施状況



パネルディスカッション



森の〇×クイズ



特別講演

一水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進一

Ⅱ 里山再生整備事業

○趣 旨

地域や生活に密着した里山を再生するため、里山の再生整備を県民協働で実施するとともに、カシノナガキクイムシ被害木の除去や竹資源の利用や竹林の整備を進めます。

○平成23年度事業の実績

(1) 市町村による里山再生整備の実施

野生動物との棲み分けや景観の保全などを目指して、里山管理利用計画に基づく里山整備や地域住民による整備活動の支援などを行いました。

【平成23年度実績】

事業実施地区	72地区（12市町）
対象区域面積	556ha（H23新規 90ha）
事業主体	市町村

4年目以降の地区への支援
57地区（13市町、459ha）

実施例：魚津市坪野地区



クマ、イノシシなどの野生動物との棲み分けを目指し、地域住民の手で見通し良く整備



整備後の見通しが良く、明るい里山

(2) カシノナガキクイムシ被害木の除去の実施

カシノナガキクイムシの被害により立ち枯れ状態にある木の除去を行い、防災および景観の保全を図りました。

【平成23年度実績】

事業実施地区	41地区（14市町）
除去量	3,367m ³
事業主体	市町



道路沿線にある枯損木を除去しました。

(3) 里山活用促進事業

竹林の適切な管理をすすめるため、里山再生整備事業を実施している地域住民等に竹林の管理や新たな利用方法の体験を行いました。

【平成23年度実績】

- ・ 穂先タケノコの利用の普及（7月3日）
富山県地産地消フェアにおいて穂先タケノコの試食提供（500食分）
- ・ とやまの竹資源ネットワークの活動（3月末現在 115団体参加）
竹材回収車（かぐやの竹舟号）の運行案内、調整（氷見市）
- ・ かぐや姫の里の集いの開催（10月30日 133名参加）
竹林の安全な整備のための技術講習及び実習、竹材利用の方法を指導
- ・ とやまの竹資源ネットワーク講習会の開催（3月3日 117名参加）
竹資源の利用を図る講習や竹を原料とするお茶の試飲等
- ・ 里山リーダーセミナーの開催（県内各地 9回開催）
里山再生整備事業実施地域における森づくり活動を継続するため、地域にマッチした里山林の利活用方法や整備方法を指導

事業主体 県



穂先タケノコの炊き込みご飯の試食提供



「かぐや姫の里の集い」における竹林伐採等の技術講習



「里山リーダーセミナー」におけるキノコ短木栽培の指導



「里山リーダーセミナー」における里山の利活用方法等の指導

一水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進一

Ⅲ みどりの森再生事業

○趣 旨

人工林の公益的機能の向上を図るため、風雪被害林や過密人工林などを、スギと広葉樹の混交林へと誘導するための森林整備を実施するとともに、県産の広葉樹苗を県民の協力を得て育成します。

○平成23年度事業の実績

(1) 風雪被害林・過密人工林の整理の実施

混交林化を促進するための伐採・整理を行うとともに、広葉樹を植栽しました。

【平成23年度実績】

整備面積	・風雪被害林整理	41.7ha
	・過密人工林整理	170.9ha
事業主体	県	

《実施例》

風雪被害林整理：小矢部市臼谷 地内



風害により幹折れや根返りが発生したスギ人工林を整理

過密人工林整理：滑川市東福寺 地内



手入れが行き届かず、過密になった人工林を整理

(2) 県産広葉樹苗の育成等

県民の皆さんにドングリの「里親」となっていただき、森づくりに必要な苗木を育て、風雪被害林整理跡地に植栽するとともに、森林ボランティア団体等に配付し、森づくり活動に使用しています。

【平成23年度実績】

育成本数	ブナ、ミズナラなど	20,000本
事業主体	県	(とやまの森づくりサポートセンターに委託)



森林ボランティア団体への苗木の贈呈



県産広葉樹苗による森林ボランティア活動

Ⅳとやまの森づくりサポートセンター活動推進事業

○趣 旨

県民参加による森づくりを推進するため、森林ボランティア等を総合的・専門的に支援します。

○平成23年度事業の実績

(1) 登録団体数等（平成24年3月末現在）

一般登録 : 83団体 3,205人（内、個人登録者数70人）
企業登録 : 45企業

(2) ボランティアの活動支援の実施

- ・ヘルメットや草刈り鎌、ナタ、鋸、伐採木竹を処理するチップパーなどの機材の貸出し、総点検
- ・登録ボランティア団体への活動経費（設立・定着支援）や保険料の支援
- ・ボランティアの森林作業技術等の向上のため「森づくり塾」を開催
自らプログラムの実施や企画・運営できるチーフの養成 など

(3) 体験ボランティアやボランティアのネットワーク化支援の実施

- ・森づくりボランティアの集いや交流会の開催
- ・飛越源流の森づくりへの参加
- ・ボランティア交流サロンの管理 など

(4) PR活動の実施

- ・登録団体が活動時に掲げる「のぼり旗」や「バッジ」の配布
- ・「サポセンのあゆみ」や森づくり活動のPRパンフレットの作成・配布
- ・登録団体やサポートセンターの活動をPRするパネルの展示 など



伐採木竹を処理するチップパーを貸し出しました。



「森づくり塾」では機械の操作実習や安全講習などを実施しました。



県民参加の森づくりの啓発やボランティア交流を深める「とやまの森づくりボランティアの集い」を開催しました。



森林所有者との協定の締結など、ボランティア団体や企業の森づくり活動を積極的に支援しました。

—とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進—

V とやまの森づくり総合情報システム事業

○趣 旨

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、とやまの森の現状や森づくり活動に関する情報を県民の皆さんに提供します。

○平成23年度事業の実績

(1) 森林GISシステムの運用

平成19年度に整備した「森林GISシステム」により、森林情報の分析や里山再生整備事業などの実施区域を整理し、水と緑の森づくり事業の評価・公表に活用しています。

また、平成23年度に「森林GISシステム」を市町に導入し、水と緑の森づくり事業実施区域など様々な森林情報を共有しています。

(2) とやまの森づくりホームページの公開

「とやまの森づくりホームページ」を公開し、森林GISシステムを用いて作成した、とやまの森に関する情報図や、水と緑の森づくり事業の情報をリアルタイムで紹介しています。

URL <http://www.pref.toyama.jp/sections/1603/moridukuri/index.html>

(平成24年3月31日現在アクセス数 36,000件)

森林GISシステム



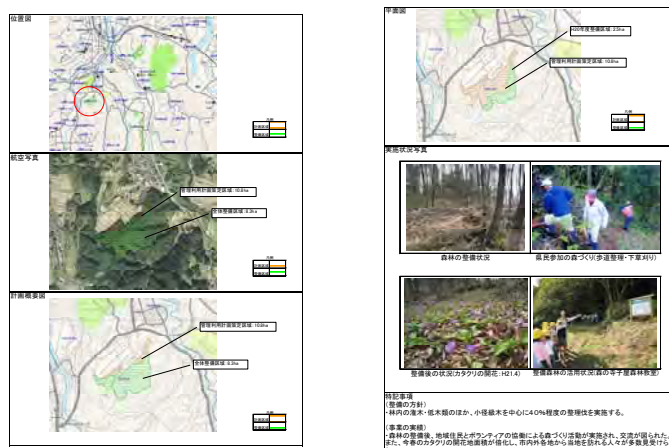
市町と様々な森林情報を共有しています。

とやまの森づくりホームページ

《トップページ》



《事業実施状況の情報（里山再生整備事業地）》



水と緑の森づくり事業の実施状況などについての情報発信を行っています。

Ⅵ とやまの森づくり普及啓発推進事業

○趣 旨

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、出前講座や森林教室を開催します。

○平成23年度事業の実績

(1) 「森の寺子屋」の開催

児童・生徒をはじめ、広く一般県民の森づくりに関する理解を深めるために、出前講座や森林教室を「森の寺子屋」として開催しています。

【平成23年度実績】

開催回数 95回

内訳〔 出前講座 70回 (参加人数 3,179人) 〕
〔 森林教室 25回 (参加人数 3,633人) 〕

(2) フォレストリーダーのスキルアップ

「森の寺子屋」の指導者となるフォレストリーダーのスキルアップを図るための研修会を実施しました。

【平成23年度実績】

スキルアップ研修の開催 1回 (平成24年3月3日)

「森の寺子屋」実施状況



「とやま森の教本」を活用して、とやまの森の働き等を解説しています。



学校に設置して使用する県産材木製プランターの製作指導をしています。



小刀を用いて間伐材からMy箸を製作する指導をしています。



校庭内の樹木の名前や特徴を解説しています。

ーとやまの森づくりを支える人づくりなどの推進ー
Ⅶ 県産材利用促進事業

○趣 旨

とやまの森づくりにつながる県産材利用への理解を深めるため、
県産材を使った木製品の設置や公共施設等の木質化を進めます。

○平成23年度事業の実績

(1) 県有施設木質化事業

イタイイタイ病資料館において、県産スギ材の会議用テーブル（39基）を
設置しました。

(2) 県産材こどもの城づくり事業

園児のデザインによる木製遊具を親子の協力により製作・設置するととも
に、親子による森の見学会を開催しました。

【実施施設数 2施設（さみどり幼稚園（富山市）、二塚保育園（高岡市））】

(3) 森に親しむ学び舎づくり事業

・小、中学校の学童・生徒用机天板を県産スギ材の天板に置換えました。

【実施学校数 11校（魚津市1校、氷見市2校、入善町8校）】

・県産材を活用した特別支援学級用の机、椅子について製品開発し、県内の
特別支援学校に配布しました。

【実施学校数 9施設（しらとり支援学校他）】

(4) とやま木育推進事業

「木育」推進のために平成21，22年度にアイデア募集した県産材遊具を
製作し、県内児童福祉施設に設置しました。

【実施施設数 11施設（入善児童センター他）】

（富山市4施設、入善町2施設、滑川市1施設、上市町1施設、朝日町1施設、氷見市1
施設、南砺市1施設）



県産材こどもの城づくり事業
（高岡市 二塚保育園）



とやま木育推進事業
（南砺市 福光児童館さっずらんど）



森に親しむ学び舎づくり事業
（県産スギ天板導入・入善西中学校）



県有施設木質化事業
（イタイイタイ病資料館テーブル設置）

—とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進—
Ⅷ 県民による森づくり提案事業

○趣 旨

県民参加の森づくりを進めるため、県民の皆さんが企画し、実践する森づくり事業への支援を行ないます。
また、水と緑の森づくり税を活用した事業のアイデアを募集し、水と緑の森づくり事業への反映を検討します。

○平成23年度事業の実績

(1) 県民実践活動事業

県内で活動する団体・グループから事業提案を募集し、第1回富山県水と緑の森づくり会議（平成23年5月24日開催）で審査のうえ、支援を行ないました。

【平成23年度実績】

・ 応募件数24件 実施件数24件

活動状況



多様な動植物が生息する豊かな森を再生するとともに、美しい自然景観の楽しめる里山を目指して、遊歩道を整備し、その周辺森林を整備（愛本夢の里プロジェクト実行委員会）



荒廃したスギ林や竹林の整備跡地にシャクナゲなどの花木を植栽、管理し、風光明媚な場に再生。植栽した花木は、伐採竹を活用して雪囲い（山平の森を育てる会）



学校周辺の「絆の森」において、植栽した桜の管理や毎年開催しているコンサート会場の竹林の整理を親子で実施。また、地元特産のシイタケ植菌体験や栽培方法についても学習。（氷見市立湖南小学校PTA）



森林内でネイチャーゲームを行いながら、落葉や枝などを拾い作品を制作。制作した作品を展示発表するとともに、県産材を活用した木工教室を開催。（森のたくはいびん）